

～ ユース研修OB、OGの今（番外編） ～

過去のユース研修の参加者を訪ねる「ユース研修OB/OGの今」。今回はユース研修を担当している育成部の清水賢一郎さんに「ユース研修って何?」「どんな事をするの?」など、参加した事がない人が気になる事を伺います。

◆「ユース研修」は、毎月の「ユース育成勉強会」と8月の「ユース&若手審判員研修会(宿泊研修)」の二つ!

---今年度も4月から「ユース研修」が行われていますね。「全日本U-12サッカー選手権大会(旧全日本少年サッカー大会、以下、全日本U-12選手権)」に派遣する審判員は「ユース&若手審判員研修会(以下、宿泊研修)」から選ばれると聞いています。

事実この宿泊研修の参加者から推薦される事が多いです。ただし、ユース審判の活動は年に一度の「特別な宿泊研修」だけを行っているわけではありません。「ユース審判員」として登録して頂き、毎月の「ユース育成勉強会」で一年を通して様々な経験をしています。その内の一つが8月の「宿泊研修」です。

◆まずは全国U-12選手権に向けて8人制、1人審判から

---毎月の「ユース育成勉強会」とはどんな活動なのですか?

我々ユース育成担当に登録をしてもらった方を対象にした研修です(登録方法は本稿文末)。「毎月1回、第3日曜日」を軸に活動し、時期によって取り組みを変えています。4~6月はU-12(4種)の試合にお邪魔して「8人制審判研修」をしています。7月以降はU-15(3種)、U-18(2種)、年度末には社会人(1種)と少しずつカテゴリーを上げていきます。

---最初は小学生なのですね。

小学生の試合が簡単だから、ではありません。目標の一つでもある「全日本U-12選手権」がU-12というのはもちろん、同時に「8人制審判」で開催されているからです。また、今までと異なり「選手権」として参加チームもより重きを置いています。よって派遣される審判員に対して求められるものが変化してきています。

---なるほど。「質の高いレフェリー」が求められている背景と、その大会を通して「より懸かっている試合」の経験を積んでほしいという思いがあるわけですね。

そうです。つまり目標の一つである全日本U-12選手権に出る事を逆算して学んでもらう必要があります。全日本U-12選手権派遣は、関東代表に選ばれねばなりません。その関東代表を決めるセレクションと全日本U-12選手権が「8人制」のため4~6月は「8人制審判」の研修を行います。

---「8人制」とその先の「11人制」で戸惑いはないのでしょうか。

「8人制」を学ぶ事で「11人制」へも応用が利くようになります。「8人制」は「8人制1人審判」と呼ばれ、全日本U-12選手権は決勝も含めてすべての判定を一人で下します。

---「1人審判」なのですね。確かに「11人制」でも最終決定は「主審」が行いますよね。

そうです。副審は主審を支える立場、最終判断は主審です。とはいえ、参考にできる意見があるかないかで大きく異なります。最終的に「11人制」で試合を裁くために必要な能力を磨く事ができると考えられています。



「ユース育成勉強会」にて



活発な意見交換が成長を促します

◆8月の「宿泊研修」について

---では8月の「宿泊研修」はどのカテゴリーですか?公式戦を使用するのですか?

例年は、公式戦であるU-15の千葉市大会を利用していますが、その年ごとの日程状況などで公式戦でない場合も

あります。毎月の「ユース育成勉強会」では4種から1種までのレベルの高いトレーニングマッチをお借りしています。

---研修の割り当ては1年を通しての研修参加や、「宿泊研修」の競技規則テストが高得点の人からの選出ですか。割り当てはテストで判断するわけではありません。1年を通して学んでくれた方の中から選びます。

---「特別ではない」といいますが、「宿泊研修」は様々な観点からも濃密で貴重な時間ですよね。あと昨年見学しての印象は年齢が近いので仲がいいなど。

そうですね。非常に仲がいい、また年上がしっかり引っ張っていられていきますから安心して参加できるかと。

---前任の右田さんもおっしゃっていましたが、指導者が課題を与えるだけでなく、参加者が考えた練習の時間もあつたようです。

そうですね、特に昨年は「みんなで作り上げる」というテーマにしました。もちろん必要な指導は行いますが、今年もそうしたいなど。

◆県の公式戦の割り当てについて

---話を研修の割り当てに戻しますが、研修の割り当ても、全日本U-12選手権に派遣されるにしてもお墨付きは必要ですね。

やはり審判員としての責任もあります。試合を割り当てる立場からすれば実力が分からないと割り当てできませんから。

---研修参加は「自分を売る」機会にもなるわけですね。基礎が身についてきたと判断されれば、研修以外でも公式戦が当たる可能性はありますか？

あります。その場合は、その審判員の 1. 審判技術、2. 人柄などの評価を審判委員会に報告した上で、正式に割り当て依頼をします。実際にそれで割り当てを受け、受験条件を満たして 2級昇級試験を受験している方もいます。もともととチャレンジする人が出てきてほしいですし、「ユース育成勉強会」や「宿泊研修」に参加する事でそういう環境に身を置けます。デメリットはないと思うので「やってみたい」「興味はあるな」というようであれば是非連絡をお願いします。その上で「チャレンジしたい」と思えばさらに挑戦してほしいです。

◆積極的なユース審判員求む！

---そういう積極性がある人こそ来てほしいですよ。参加者にはどんな人がいるでしょうか。一方で「学生の内は選手としてプレーしたい」という人もいるかと思います。

今ユース審判登録しているのは24人で主に学生なので学業が最優先。「定期試験間近なので休みます」はよくあります。また部活もサッカー部、陸上部、水泳部員などもいるので「部活なのでいけません」はザラです。そのような形で行われているので、毎月の「ユース育成勉強会」に皆来ているかとそうではありません。でも参加したら誰しも積極的ですし前向きです。自発的に参加しているので、成長という結果もついてきます。更に今はPR(プロフェッショナルレフェリー)があるので「審判をやりたい」という人が増えています。本当にいいことだと思います。それでも「今はプレーしたい」のであればそれでいいと思います。審判は後になってもできます。ただ、早くいろいろな経験ができるメリットもあるので両立できるのであればして頂きたいし、それができる環境もあります。

---その第一歩として「ユース育成勉強会」や「宿泊研修」はいい機会ですね。

そうです。本当にどんな人でもウエルカムです。少しでも興味のある人、参加を迷っている人はまずは「ユース研修」に参加してみてください。是非ご連絡をお待ちしています！

一年を通して成長する機会があるユース審判。特に8月の「宿泊研修」は大きなチャンス！一人でも多くの方が「ユース研修」から「全日本U-12選手権」、またその先を目指してくれたら嬉しいです。「ユース育成勉強会」並びに「宿泊研修」に参加希望の方、またはお問い合わせはこちらまで。「宿泊研修」の詳細は別稿をご覧ください。

育成部/U-18担当 清水 賢一郎(しみず けんいちろう)



TEL : 080-3170-3250

←e-mail : shimizu@CFA.jpn.org

笑顔が素敵な清水さん

